

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高校 2 年	数学	数学Ⅱ	4	SS 理系
教科書・副教材		NEXT 数学Ⅱ(数研出版)、NEXT 数学Ⅲ(数研出版)、新課程 教科書傍用 サクシード数学Ⅱ+B(数研出版)、新課程 教科書傍用 サクシード数学Ⅲ+C(数研出版)		

科目の目標			
高校 1 年生で学習した数学Ⅰ・Aをもとに、新しい数学的な表現方法を学び、数学を活用して考えたり、数学的な考え方に基づいて物事を判断したりできるようになることが 1 つの目標です。 基本的には教員の説明が 45 分間続くことはありません。「個別最適な学び」を重視し、生徒が自身のペースで学習を進めていくスタイルです。教科書内容の読解から演習までを自ら計画的に行い、教員は必要に応じてヒントの提示や解説などを行います。基本的には自分がいま何をすべきかを考え、行動してもらうことになります。授業時間の 45 分間が無駄に流れないように主体的に活動してほしいと思います。そのことで、「課題設定」「個人的実行力」「耐性」などのコンピテンシーが伸びていくと思われます。 授業内の活動において、わからないことなどは周囲の人たちと相談しても良いですし、教員に気軽に質問してもらっても良いです。授業の主役は生徒の皆さんであり、我々教員ではありませんので考え・悩みながら 45 分の活動を進めてもらいたいと思います。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身につける。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身につける。
評価の方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	確認テスト(単元テスト) 定期テスト ワークシート 観察 など	確認テスト(単元テスト) 定期テスト ワークシート パフォーマンス課題 観察 など	確認テスト(単元テスト) ワークシート パフォーマンス課題 観察 リフレクション など

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学期	【数学Ⅱ】		確認テスト(単元テスト) 定期考査 ワークシート リフレクション など
	第 3 章 図形と方程式		
	第 1 節 点と直線	8	
	第 2 節 円	6	
	第 3 節 軌跡と領域	4	
	第 4 章 三角関数		
	第 1 節 三角関数	9	
	第 2 節 加法定理	4	

	第 5 章 指数関数と対数関数		
	第 1 節 指数関数	3	
2 学 期	第 2 節 対数関数	6	確認テスト(単元テスト) 定期考査 ワークシート リフレクション など
	第 6 章 微分法と積分法		
	第 1 節 微分係数と導関数	6	
	第 2 節 関数の値の変化	4	
	第 3 節 積分法	6	
	【数学Ⅲ】		
	第 1 章 関数	6	
	第 2 章 極限		
	第 1 節 数列の極限	8	
3 学 期	第 2 節 関数の極限	8	確認テスト(単元テスト) 定期考査 ワークシート リフレクション など
	第 3 章 微分法		
	第 1 節 導関数	5	